

計画・設計の見直し

工事名：（県単）河川局部改良工事（基金）

概要： 二級河川笹の川 敦賀市堂

河川護岸ブロック基礎が損傷、根固ブロックでの復旧ではなく、他工事から発生した巨石を受入、捨石による根固工に変更した。

効果

- 根固ブロックの製作費が縮減できる。
- 河川環境的にも捨石の方が良い。
- 根固ブロック製作費 約7,500千円のコスト縮減。

着手前



「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：（２）計画・設計・施工の最適化 【２】 施工の見直し 】

建設発生土の工事間流用

工事名：総合流域防災工事（地域自主戦略交付金）その2工事

二級河川北潟湖 あわら市北潟

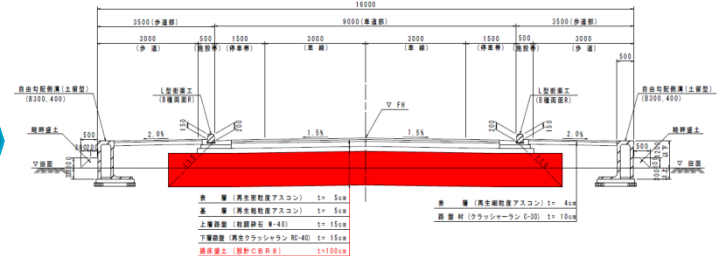
概要：河川事業で発生した工事残土を道路改良工事に流用

効果

○ 施策の効果

北潟湖の浚渫土を中間処理していた施設の撤去工事において、周囲の堤体約4,000m³を処分することとなったため、次年度以降の施工となる道路改良工事の材料として市の所有地にストックし、路床盛土として流用することとした。

○ 工事費 19,000千円(コスト縮減額10,000千円)



「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：（２）計画・設計・施工の最適化 【２】施工の見直し】

河川敷支障木処分費の縮減

工事名:(県単)河川維持修繕工事

一級河川 九頭竜川 吉田郡 永平寺町 大野島から中島地係

概要：河川敷の支障木伐採において、処分予定の木材を30cmから50cmに小割し、住民に無償提供することで、木材の処分費の縮減を図った。

効果

○ 小割費を差し引いて、約13.5t処分費が約267千円縮減。



河川敷きに支障となる伐木を伐採し、薪などで使用する使用の30cmから50cmの小割をおこなう。中島公園まで小運搬を実施し、住民に提供をおこなう。(福井土木事務所のホームページや永平寺町役場の広報・ホームページで公募をかける。但し、営利目的はお断り)

河川管理及び住民に直接運搬してもらうことで、運搬費、処分費が縮減でき、なおかつ住民の財産に貢献できるという点が一石二鳥である。